

## アカエゾマツのシントメタマバエの1種

秋から春にアカエゾマツの冬芽が白く丸く膨らむ。内部に黄色のウジムシ（幼虫）。春になっても冬芽は開かない。森林や庭などでときどき多発する。多発は数年続くことがあり、それにより成長がやや低下することがある。



1. 被害枝, 1997/10, 留寿都町.



2. 被害芽. 上の芽の丸い穴は寄生蜂の脱出口.  
右下の芽の先にあるのはタマバエ蛹の抜け殻.



3. 産卵中の雌成虫.

2～3. 1997/6/13, 美唄市, アカエゾマツ.

【学名】 *Dasineura* sp.

【分類】 ハエ目 (Diptera), タマバエ科 (Cecidomyiidae)

【分布】 北海道.

### 【文献】

\*1999. 林直孝, 原秀穂. シントメタマバエの一種によるアカエゾマツの被害とその生活史. 第47回日本林学会北海道支部論文集: 67-69.

\*1999. 林直孝, 原秀穂. アカエゾマツの芽に虫こぶを作るシントメタマバエの一種の被害と生態. 森林保護, 274: 41-43.

\*の文献は北海道立林業試験場ホームページの「北海道立林業試験場・研究成果文献データベース」で見ることができます。

北海道立林業試験場・緑化樹センター

アカエゾマツのシントメタマバエの1種 tamabae/akaezosi/  
kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/10/18.

higai.jpg, kobu.jpg, seichu.jpg

「写真1～3」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 1997.